愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】保育内容（言葉）		
担当者(Instructors)	鈴木 順子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

子どもの発達過程に即して、領域「言葉」のねらい及び内容を知る。その具体的な方法として、児童文化財の一つである絵本の読み聞かせを実践し、保育者としての必要な知識や技能を理論や実践を通して身につける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	オンデマンド、対面で行う。 保育所保育指針や幼稚園教育要領の言葉の内容を理解した上で、保育場面を想定した絵本の読み聞かせを実践し、実践上の課題や改善方法を模索する。また授業に関連した課題を通して自分なりに考える力を養う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンスを行う。	授業の各回のテーマと内容、評価等について理解する。 保育内容「言葉」の概要について学ぶ。	□
第2回	ことばを育てる児童文化財	「言葉」の特性や乳幼児の体験を考え、様々な教材(絵本、ストーリーテリング等)を学ぶ。	□
第3回	「絵本の読み聞かせ」について	絵本の読み聞かせのポイントと指導案から学ぶ。	□
第4回	ことばの発達　(1)乳児・1歳以上3歳未満児	乳児及び1歳以上3歳未満児の言葉の発達と保育に関わるねらい及び内容について理解することができる。	□
第5回	ことばの発達　(2)3歳以上児	3歳以上児の言葉の発達と保育に関わるねらい及び内容について理解することができる。	□
第6回	言葉にかかわる現代社会の背景	子育てをしている家庭における人との関わりと言葉について考える。	□
第7回	模擬保育を行う: 読み聞かせの実演(1)	作成した指導案で模擬保育を行い、その楽しさを体験する(1)	□
第8回	模擬保育を行う: 読み聞かせの実演(2)	作成した指導案で模擬保育を行い、その楽しさを体験する(2)	□
第9回	模擬保育を行う: 読み聞かせの実演(3)	作成した指導案で模擬保育を行い、その楽しさを体験する(3)	□
第10回	模擬保育を行う: 読み聞かせの実演(4)	作成した指導案で模擬保育を行い、その楽しさを体験する(4)	□
第11回	模擬保育を行う: 読み聞かせの実演(5)	作成した指導案で模擬保育を行い、その楽しさを体験する(5)	□
第12回	模擬保育の振り返りを通じて、保育を改善する視点を身につける。	模擬保育を振り返る。	□
第13回	子どもの言葉を育むための保育者の役割 子どもの育ちにかかわる諸課題	子どもたちに関わる諸課題を通して保育者の役割について知る。	□
第14回	子どもの言葉の発達について考察する。	子どもの成長に伴う言葉の発達について自分なりに考察をする。	□
第15回	まとめ	14回目までの学習内容を振り返り、乳幼児期の言語機能、領域「言葉」、言語教育を活かす教材、保育者の役割について理解できているかを確認する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として、前回の授業の内容を整理をしておくこと(当日までに2時間程度)。　・授業後は、課題を提示するため、期日までに提出す

ること(次回授業時までに2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・提出された課題に対してのコメントを行う。 ・模擬保育をみて感じたことや意見を書いたものを集約することで個々へのフィードバックの一助とする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	乳幼児期の言語の発達過程について理解できている。また言語育成を促す教材について基礎的な知識を得、説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	子どもの言葉の発達の違いを理解し、様々な年齢の子どもに対応できる実践力を身につけている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	0%	100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・課題70%
・絵本の読み聞かせ課題30%
・各回の課題提出と絵本の読み聞かせ課題の提出により、出席となります。
課題が提出されなければ欠席となります。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	classroomにて資料動画、及び課題を配信します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	太田光洋(著),「保育内容・言葉第三版(保育・教育ネオシリーズ20)」,同文書院,2018年	
2	田島美穂(編),「平成29年告示幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領＜原本＞」,株式会社チャイルド本社,2017年	
3		
4		
5		